

【公開版】

日本原燃株式会社	
資料番号	外外火 17 R0
提出年月日	令和3年4月21日

設工認に係る補足説明資料

外部火災防護設計の基本方針に関する補足説明資料
薬品タンクの影響について

目 次

1. 概要	1
2. 薬品タンクの影響	1

1. 概要

本資料は、再処理施設及び MOX 燃料加工施設の設計基準対象施設に対する後次回申請を含めた森林火災及び再処理事業所敷地内に設置する危険物貯蔵施設等の火災について補足説明するものである。

ここでは、森林火災発生時の消火活動の成立性の観点で評価を実施した結果について補足説明する。

また、本資料は、第 1 回申請（令和 2 年 12 月 24 日申請）のうち、以下に示す添付書類の補足説明に該当するものである。

- ・再処理施設 添付書類「VI-1-1-1-4-1 外部火災への配慮に関する基本方針」
- ・MOX 燃料加工施設 添付書類「V-1-1-1-4-1 外部火災防護における評価方針」

2. 薬品タンクの影響

薬品タンクの影響評価については、森林火災発生時の消火活動成立性という観点で評価を実施している。

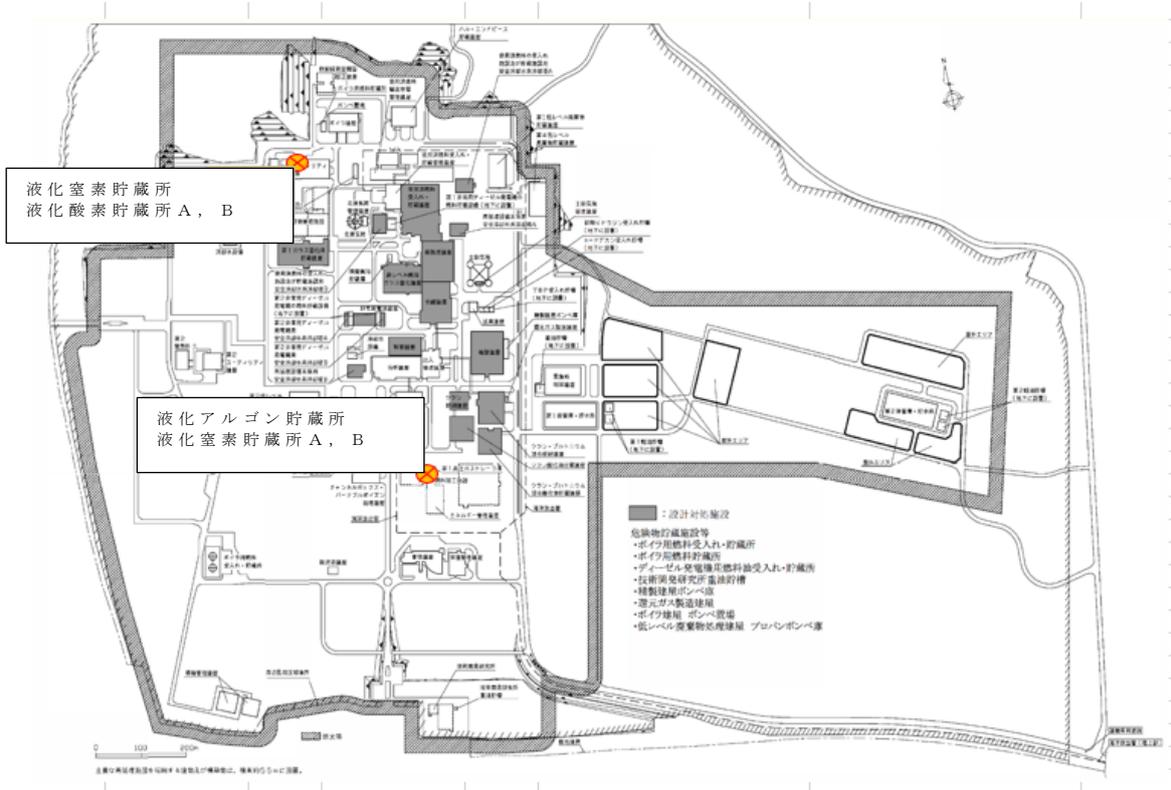
森林火災発生時には、防火帯に沿った消火活動を実施することになると想定される。一方で薬品タンクは屋外に設置していないため、森林火災の影響を受けて消火活動に影響を及ぼすことはない。

薬品タンク以外に漏洩した際に窒息の観点から消火活動に影響を及ぼすおそれのあるタンクについて、第 2-1 表に示す。また、防火帯との位置関係を第 2-1 図に示す。

これらのタンクは防火帯から距離が離れているため、タンクに与える熱影響は小さく、万一これらのタンクから漏洩が発生したとしても消火活動に影響を及ぼすことはない。

第 2-1 表 敷地内にある窒息性のガスを収納するタンク

屋外にある窒息性ガス タンク	貯蔵量
液化窒素貯蔵	50 m ³
液化酸素貯蔵 A	15 m ³
液化酸素貯蔵 B	5 m ³
液化アルゴン貯蔵	36 m ³
液化窒素貯蔵 A	90 m ³
液化窒素貯蔵 B	90 m ³



第 2 - 1 図 窒息性ガスタンクと防火帯の位置